

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	開頭手術における軟部組織腫脹：治打撲一包＋桂枝茯苓丸による抑制効果の検証
研究責任者 (所属科名)	松重 俊憲 （脳神経外科・脳血管内治療科）
本研究の目的・意義	開頭手術では、術後に頭部から顔面が腫れます。一般的に約1週間程度持続する創部の腫脹は、術後の疼痛や不快感、切開部分を中心とした側頭部の腫れによる開口制限で食事量が低下することにつながります。また創部の腫れによって数日開瞼が難しくなることがあり、片眼で離床すると転倒リスクになります。当院では、2023年より術前後に漢方薬の内服を開始し、術後の腫れの軽減に努めています。術後経過でどの点で効果的であったか、今回検証します。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 研究期間：倫理委員会承認後～2026年3月31日を予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2017年4月1日～2025年3月31日までに当院脳神経外科・血管内治療科にて中大脳動脈未破裂脳動脈瘤に対して前頭側頭開頭で開頭クリッピング術を施行した患者さん。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録（年齢・性別・既往歴など）、検査データ（MRI等の画像データも含む）や臨床経過などを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	082-815-5211 担当：脳神経外科・脳血管内治療科：松重 俊憲